

9:00 ~ 9:30 評議員会

9:35 ~ 9:40 開会の挨拶

会長：渋谷 彰
筑波大学医学医療系免疫学 教授
筑波大学生命領域学際研究センター 教授

9:40 ~ 10:40 一般口演 セッション1 (O-1 ~ O-6)

「エフェクター細胞」

座長：岡 芳弘（大阪大学大学院医学系研究科癌幹細胞制御学寄附講座）
藤井眞一郎（理化学研究所 統合生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チーム）

O-1 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫における腫瘍浸潤CD8+Tリンパ球の解析

Analyses of tumor-infiltrating CD8+ T lymphocytes in diffuse large B-cell lymphoma

○村橋 瞳了¹、浜名 洋²、岸 裕幸²、山口 類³、宮野 悟³、緒方 久修¹、岡崎 利彦⁴、佐々木秀法⁵、宮本 将平⁶、谷 憲三朗⁶、大西 秀哉⁷、高松 泰⁵、中西 洋一⁸

- 1 九州大学病院 先端分子・細胞治療科
- 2 富山大学大学院 医学薬学研究部 免疫学講座
- 3 東京大学 医科学研究所 ヒトゲノムセンター
- 4 九州大学病院 ARO 次世代医療センター
- 5 福岡大学 医学部 腫瘍・血液・感染症内科学
- 6 東京大学 医科学研究所 ALA 先端医療学社会連携研究部門
- 7 九州大学大学院 医学研究院 腫瘍制御学分野
- 8 九州大学大学院 附属胸部疾患研究施設

O-2 再生不良性貧血患者骨髄中のCD8陽性単一T細胞解析によるHLA-B5401拘束性CTLの同定

Identification of HLA-B5401-restricted cytotoxic T lymphocytes using a single CD8+ T-cell analysis in the bone marrow of a patient with acquired aplastic anemia

○中川 紀温¹、Mahmoud I. Elbadry¹、赤塚 美樹²、下岡 清美³、浜名 洋³、吉田 善紀⁴、井美 達也¹、材木 義隆¹、石山 謙¹、岸 裕幸³、中尾 真二¹

- 1 金沢大学附属病院血液内科、2 藤田保健衛生大学医学部血液内科
- 3 富山大学医学部免疫学講座、4 京都大学 iPS細胞研究所

O-3 多発性骨髓腫におけるインバリアント NKT 細胞効果による NK 細胞機能回復
Restoration of NK cell function against multiple myeloma cells by an adjunctive effect of activated invariant natural killer T (NKT) cells

○伊豫田智典¹、山崎 哲¹、清水佳奈子¹、日高 道弘²、河野 文夫²、阿部 有³、鈴木 嘉史³、門脇 則光⁴、藤井眞一郎¹

1 国立研究開発法人理化学研究所 統合生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チーム

2 国立病院機構 熊本医療センター 血液内科

3 日本赤十字社医療センター 血液内科

4 香川大学 医学部・医学系研究科 内科学講座 血液・免疫・呼吸器内科学

O-4 共刺激分子 DNAM-1 はサイトメガロウイルス感染時に於ける記憶ナチュラルキラー細胞の分化に必要である

Costimulatory molecule DNAM-1 is essential for optimal differentiation of memory natural killer cells during mouse cytomegalovirus infection

○鍋倉 宰^{1,2}、金谷 穂³、渋谷 彰^{2,3}、Guo Fu⁴、Gascoigne Nicholas R.J.⁴、Lanier Lewis L.¹

1 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 微生物学免疫学部門 Lewis L. Lanier 研究室

2 筑波大学 生命領域学際研究センター (TARA センター)

3 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

4 スクリプス研究所 免疫学微生物科学部門

O-5 腫瘍抑制因子 Menin は mTORC1 シグナルの調節を介して T 細胞老化と抗腫瘍免疫を制御する

The tumor suppressor menin regulates CD8 T cell senescence and antitumor activity via the modulation of mTORC1 activity

○鈴木 淳平^{1,2,4}、桑原 誠^{2,4}、山田 武司³、安川 正貴^{1,4}、山下 政克^{2,4}

1 愛媛大学大学院 医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学

2 愛媛大学大学院 医学系研究科 免疫学

3 愛媛大学大学院 医学系研究科 感染防御学

4 愛媛大学医学部附属病院 先端医療創生センター

O-6 iPS 細胞を利用した、WT1 発現腫瘍に対する他家細胞免疫療法の実現に向けて
iPSC based Allogeneic adoptive immunotherapy against WT1 expressing tumor

○南川 淳隆¹、植村 靖史²、中面 哲也²、安川 正貴³、一阪 朋子⁴、吉田 信介⁴、
蔵永 伊織⁴、佐藤 美子⁵、梅景 雅史⁵、高須 直子⁵、金子 新¹

1 京都大学 iPS 細胞研究所増殖分化機構研究部門、2 国立がん研究センター

3 愛媛大学血液内科、4 京都大学 iPS 細胞研究所細胞調製施設

5 京都大学 iPS 細胞研究所基盤技術研究部門

10：40～11：20 一般口演 セッション2 (O-7～O-10)

「造血幹細胞移植とGVHD」

座長：大嶺 謙（自治医科大学内科学講座血液学部門）
村田 誠（名古屋大学大学院 血液・腫瘍内科学）

O-7 難治性進行神経芽腫に対する自家末梢血幹細胞およびKIRリガンド不一致臍帯血を用いたタンデム移植は再発を減少させ、予後を改善する

Tandem stem cell transplantation with autologous peripheral blood and KIR ligand mismatched cord blood reduces relapse and improves survival of children with refractory neuroblastoma

○西尾 信博^{1,2}、片岡 伸介²、濱田 太立²、市川 大輔²、谷口理恵子²、村上 典寛²、
小島 大英²、鈴木 喬吾²、川島 希²、西川 英里²、奥野 友介^{1,2}、成田 敦²、
村松 秀城²、濱 麻人²、小島 勢二²、高橋 義行²

1 名古屋大学医学部附属病院 先端医療・臨床研究支援センター

2 名古屋大学大学院医学系研究科 小児科学

O-8 ヒト急性GVHDにおける組織浸潤アロ反応性T細胞レパートアの定量的評価

Quantitative assessment of allo-reactive T cell repertoire in human acute GVHD tissues

○小山 大輔、村田 誠、葉名尻 良、奥野 真吾、鴨下 園子、高木えり奈、
Julamanee Jakrawadee、宮尾康太郎、後藤 辰徳、酒村玲央奈、寺倉精太郎、西田 徹也、
清井 仁

名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

O-9 Xenogeneic GVHDマウスモデルにおける病態解析と免疫応答の解明

Comprehensive analysis of the activation and proliferation kinetics and effector functions of human CD4+ T-cells in xenogeneic GVHD

○川崎 泰史¹、佐藤 一也¹、早川 裕子²、高山 倫一¹、中野 裕史¹、真島 清実¹、
皆方 大佑¹、山崎 諒子¹、森田 薫¹、蘆澤 正弘¹、山本 千裕¹、畠野かおる¹、
藤原慎一郎¹、翁 家国¹、大嶺 謙¹、神田 善伸¹

1 自治医科大学内科学講座血液学部門、2 自治医科大学共同実験機器センター

O-10 DNAM-1はヒト急性GVHD治療の分子標的となりうる

DNAM-1 is a new molecular target for therapy of acute GVHD

○金丸(山下)由美¹、佐藤 和貴¹、阿部 史枝¹、奥村 元紀¹、伊藤 守³、渋谷 彰^{1,2}
渋谷 和子¹

1 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

2 筑波大学 生命領域学際研究センター(TARAセンター)

3 実験動物中央研究所 実験動物研究部

11：20～11：30 休憩

11：30～12：30 特別講演Ⅰ（ランチョンセミナー）

幹細胞ニッチの概念を利用した新しい医療

Stem Cell Niche: from cells to organs and beyond

司会：小澤 敬也（東京大学医科学研究所附属病院

同 遺伝子・細胞治療センター

同 先端医療研究センター 遺伝子治療開発
分野）

講師：中内 啓光（スタンフォード大学 幹細胞生物学・再生医療研究所
東京大学医科学研究所）

共催：小野薬品工業株式会社／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

12：30～ 昼食

13：00～13：30 ポスターセッション（P-1～P-11）

P-1 再生不良性貧血発症に関わる抗原遺伝子同定の試み

Toward identification of a gene encoding an antigen associated with pathogenesis of aplastic anemia

○赤塚 美樹^{1,2}、岡本 晃直¹、岡村 文子²、楫屋 良子¹、稻熊 容子¹、白石 圭子^{1,2}、
葛島 清隆²、恵美 宣彦¹

1 藤田保健衛生大学医学部・血液内科、2 愛知県がんセンター研究所・腫瘍免疫学部

P-2 急性GVHDにおけるsoluble DNAM-1 dynamicsの解析

Dynamics of soluble DNAM-1 (CD226) in the case of acute Graft Versus Host Disease (GVHD)

○五島 祐樹¹、渋谷 彰^{1,2}、渋谷 和子¹、中岡 慎治^{3,4}

1 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

2 筑波大学 生命領域学際研究センター（TARAセンター）

3 科学技術振興機構さきがけ、4 東京大学生産技術研究所

P-3 Foxp3 陽性制御性 T 細胞は骨髓移植後の B 細胞分化に必要な造血環境を維持している

Foxp3+ Regulatory T Cells Maintain the Bone Marrow Microenvironment for B Cell Differentiation From Hematopoietic Stem Cells.

○錦井 秀和¹、横山 泰久¹、Pierini Antonio²、木村 隆治³、Kwon Hye-Sook²、Judith Shizuru²、Wu Joy³、Negrin Robert²、千葉 滋¹

1 筑波大学医学医療系血液内科

2 Division of Blood and Marrow Transplantation, Stanford University

3 Division of Endocrinology, Stanford University

P-4 癌患者血清における可溶型 CD155

Increased soluble CD155 in the serum of cancer patients

○井口 研子^{1,2}、渋谷 彰^{2,3}、渋谷 和子²

1 筑波大学 医学医療系 乳腺内分泌外科

2 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

3 筑波大学 生命領域学際研究センター（TARA センター）

P-5 腫瘍免疫応答とがん転移における可溶型 CD155 の役割

The role of soluble CD155 in tumor immune response and metastasis

○奥村 元紀¹、井口 研子^{1,2}、村田 力斗¹、渋谷 彰^{1,3}、渋谷 和子¹

1 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

2 筑波大学 医学医療系 乳腺内分泌外科

3 筑波大学 生命領域学際センター（TARA センター）

P-6 腫瘍微小環境における CD300a の機能解析

The involvement of CD300a in the tumor growth

○中澤 優太¹、小田ちぐさ¹、渋谷 彰^{1,2}

1 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

2 筑波大学 生命領域学際研究センター（TARA）

P-7 アラジン-1 は樹状細胞において House dust mite 刺激による MAP キナーゼの活性化を抑制する

Inhibition of house dust mite-induced MAP kinase activation in dendritic cells by Allergin-1 immunoreceptor

○ Almeida Mariana¹、田原 聰子^{2,4}、柴山 史朗⁵、三木 春香^{2,3}、渋谷 彰^{2,4}

1 筑波大学 人間総合科学研究科 生命システム医学専攻 免疫学研究室

2 筑波大学 医学医療系 免疫学研究室

3 筑波大学 医学医療系 リウマチアレルギー内科

4 筑波大学 生命領域学際研究センター (TARA)

5 小野薬品工業株式会社 研究本部 免疫研究センター

P-8 細胞表面抗原を用いた制御性 T 細胞の分離・増殖

Isolation and proliferation of regulatory T cells by surface molecules

○小笠原正浩、太田 秀一

札幌北楡病院 血液内科

P-9 自己 MHC クラス I を認識する活性化 NK 細胞受容体は NK 細胞のエフェクター機能と記憶細胞分化を促進する

Activating receptors for self-MHC Class I enhance effector functions and memory differentiation of NK cells during mouse cytomegalovirus infection

○鍋倉 宦^{1,2}、Lanier Lewis L.¹

1 カリフォルニア大学サンフランシスコ校 微生物学免疫学部門 Lewis L. Lanier 研究室

2 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

P-10 マウス ES 細胞由来肥満細胞株 MEDMC-BRC6 は肥満細胞欠損マウスに生着して全身性アナフィラキシーを誘導する

Long-term survival of the mouse ES cell-derived mast cell, MEDMC-BRC6, in mast cell-deficient KitW-sh/W-sh mice

○柴垣 翔平¹、田原 聰子^{1,2}、寛山 隆³、中村 幸夫³、渋谷 彰^{1,2}

1 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

2 筑波大学 生命領域学際研究センター (TARA センター)

3 理化学研究所 バイオリソースセンター (BRC) 細胞材料開発室

P-11 新規抗 TIGIT 抗体の樹立と特性評価

Development and characterization of novel monoclonal antibody for TIGIT

○中村 優歩¹、内藤 恵介¹、金丸(山下)由美¹、渋谷 彰^{1,2}、渋谷 和子¹

1 筑波大学 医学医療系 免疫制御医学研究室

2 筑波大学 生命領域学際研究センター (TARA センター)

13:30 ~ 13:50 総会

13:55 ~ 14:45 一般口演 セッション3 (O-11 ~ O-15)

「免疫療法」

座長：藤原 弘（愛媛大学医学部附属病院 血液・免疫・感染症内科）
寺倉精太郎（名古屋大学医学部附属病院 血液内科）

O-11 急性骨髓性白血病に対する WT1 ワクチン療法の進捗

WT1 vaccine therapy for acute myeloid leukemia

○中田 潤¹、中江 吉希²、川上 学²、森本創世子¹、元岡 大祐³、水谷 陽¹、
保仙 直毅⁴、藤木 文博⁵、中島 博子⁵、長谷川加奈⁴、西田 純幸⁶、坪井 昭博¹、
尾路 祐介⁷、岡 芳弘⁴、杉山 治夫⁵

- 1 大阪大学 癌ワクチン療法学、2 日生病院 血液内科、
3 大阪大学 微生物研究所 感染症メタゲノム研究分野、
4 大阪大学 癌幹細胞制御学 寄付講座、5 大阪大学 癌免疫学共同講座、
6 大阪大学 呼吸器免疫内科学、7 大阪大学 機能診断科学

O-12 造血器腫瘍に対する HSV-1 ウイルス療法の開発

Oncolytic Virus Therapy with HSV-1 for Hematologic Malignancies

○石野 亮^{1,2}、川瀬 有美¹、北脇 年雄¹、杉本 直志³、稻生 靖⁴、藤堂 具紀⁴、
高折 晃史¹、門脇 則光²

- 1 京都大学大学院 医学研究科 血液・腫瘍内科学
2 香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学
3 京都大学 iPS 細胞研究所
4 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 先端がん治療分野

O-13 多発性骨髓腫に対する新規 CAR-T 細胞療法

A novel CAR T-cell therapy against multiple myeloma

○長谷川加奈¹、岡 芳弘¹、尾路 祐介²、熊ノ郷 淳³、杉山 治夫⁴、保仙 直毅¹

- 1 大阪大学大学院 医学系研究科 癌幹細胞制御学
2 大阪大学大学院 医学系研究科 機能診断科学
3 大阪大学大学院 医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学
4 大阪大学大学院 医学系研究科 癌免疫学

O-14 新規人工アダプター分子の遺伝子導入は抗原特異的 CTL の persistence を向上させる

Improvement of Antigen-specific CTL Persistence by Transduction of Novel Artificial Adapter Molecule

○宮尾康太郎^{1,2}、寺倉精太郎¹、奥野 真吾¹、渡邊 慶介¹、浜名 洋³、岸 裕幸³、酒村玲央奈¹、Jakrawadee Julamanee¹、後藤 辰徳¹、西田 徹也¹、村田 誠¹、清井 仁¹

1 名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学

2 公立陶生病院 血液・腫瘍内科

3 富山大学大学院医学薬学研究部 免疫学講座

O-15 A2/NY-ESO-1 特異的改变抗体を応用した骨髄腫に対する新たな免疫療法の開発

Development of novel T-cell therapy utilizing modified antibodies specific for A2/NY-ESO-1 for refractory myeloma

○越智 俊元、丸田 雅樹、谷本 一史、東 太地、藤原 弘、安川 正貴

愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学講座

14：45～15：00 休憩

15：00～17：05 会長シンポジウム

「医薬の開発—アカデミアの役割、企業の役割」

座長：渋谷 彰（筑波大学医学医療系免疫学
筑波大学生命領域学際研究センター）

S-1 脱フコシル化抗 CD4 抗体の造血腫瘍・固形がん治療薬としての臨床開発

Clinical development of a de-fucosylated anti-CD4 antibody as a therapeutic for solid as well as hematological cancers

まつしま こうじ
松島 綱治

東京大学大学院医学系研究科分子予防医学分野

S-2 遺伝子改変 T 細胞の輸注療法 —アカデミアと企業の 2 人 3 脚—

Adoptive cell therapy with gene-engineered T cells—Joint work with industry—

しゅく ひろし
珠玖 洋

三重大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学

三重大学複合的がん免疫療法研究センター

S-3 医薬の開発における企業の役割

Development of medicine - the role of collaboration between the academia and the industry; from the point of view of an industry

服部 有宏
はっとり くにひろ

中外製薬株式会社 研究本部

S-4 新規がん免疫治療薬抗 PD-1 抗体ニボルマブの研究開発

Innovative cancer immunotherapy, anti-PD-1 antibody Nivolumab

柴山 史朗
しばやま しろう

小野薬品工業株式会社 研究本部 免疫研究センター

S-5 医薬品開発研究のアカデミア・医師の役割：運と縁、急がば廻れ

Haste makes waste; a team work to envision luck and risk

石井 健
いしい けん

国立研究開発法人 医薬基盤健康栄養研究所 ワクチンアジュvant研究センター

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 科学技術顧問

大阪大学 免疫学フロンティア研究センター ワクチン学

17:05～17:15 休憩

17:15～18:15 特別講演Ⅱ（イブニングセミナー）

制御性 T 細胞による免疫応答制御

Control of immune responses by regulatory T cells

司会：門脇 則光（香川大学医学部 血液・免疫・呼吸器内科学）

講師：坂口 志文（大阪大学免疫学フロンティア研究センター）

共催：トミーデジタルバイオロジー株式会社／BioLegend Japan 株式会社

18:15～18:20 閉会の挨拶

会長：渋谷 彰

筑波大学医学医療系免疫学 教授

筑波大学生命領域学際研究センター 教授